

JAM愛媛シニアクラブは、8月26日、松山の井関農機労組2階会議室で、初主催の政策・制度学習会を「愛媛県在宅介護研修センター」の協力を得て開催した。

当日も朝から厳しい猛暑でしたが、シニアの役員や介護に関心をもつ会員を中心に県下6つの自治体から26名が参加。講師は、研修センターの「愛と心えひめ」管理人兼主任ケアマネの鈴木大氏から「どうなる介護、制度の概要と利用にあたってのポイント」の演題で、プロジェクターを使った投影画面等による講演、休憩や質疑も含め2時間20分にわたり学ぶことができた。

その要旨は、介護の事態に直面した場合、「介護」を一人で抱え込まないために「人」や「制度」と上手に繋がっていくことの重要性。そのために相談できる場所、介護保険サービスの種類や利用できる医療、障害涯福祉など周辺制度のツボ、知らないと損をする助成制度、介護にかかる費用に関する事など、既に介護サービスを利用されている方も、今後の介護に備えあらかじめ知っておきたい方にもと、介護保険利用のポイント（○介護が必要になった時、先ずすべきこと。○ケアマネジャーの選び方。○ケアプラン作成時のポイント。○介護にかかる費用と各種の助成。○介護を予防するためにすべきこと。）等を判りやすく説明頂き好評だった。

なお質疑が8件あり、その中で介護職員の給料が一般に比べ低すぎる事、介護認定要件の緩和等の要望に対し、役員から補足して制度の見直しを伴う課題だけに、組織内議員を増やすのが近道、来年の統一地方選、参院選の推薦候補必勝へ再協力要請も行なった。



